

令和6年11月28日

I はじめに

令和6年12月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には御出席いただき誠にありがとうございます。

提出いたしました議案をはじめ、市の重要案件の審議につきまして、よろしくお願い申し上げます。

さて、今月で私に与えられた任期も残り1年となりました。これまで一步步づつ着実に市政運営を進めていくことができましたのは、市議会議員の皆様をはじめ市民の皆様の御理解と御協力のおかげであると、心から感謝申し上げます。

市長就任以降、令和元年東日本台風災害からの復旧・復興や新型コロナウイルス感染症対策などの喫緊の課題への対応のほか、こども総合支援センター「あのえっと」、教育支援センター「SaSaLAND」及びながのこども館「ながノビ！」の開設、子どもの体験・学び応援事業「みらいハッ！ケン」プロジェクトの実施、子どもの福祉医療制度の対象範囲の拡大、観光や農業等の振興に向けた市内外への情報発信など様々に取り組んでまいりました。

これらの施策・事業の実施にとどまることなく、市民の皆様が暮らしの変化や向上につながったと実感していただくことが何よりも重要です。

「まち」「ひと」「産業」を「守り」、「育て」、「輝ける」よう、それぞれの取組を加速し、未来に向け、希望あふれる長野市へとつなげてまいりたいと考えております。

議員の皆様、また、市民の皆様には、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

II 財政運営

続いて、財政運営について申し上げます。

政府が今臨時国会に提出を予定する国の総合経済対策に基づく補正予算案については、本市においても、その動向を注視し、各省庁及び県からの情報取得

に努め、市民の暮らしの向上などにつながるよう、最大限に必要な経費に係る財源を確保してまいりたいと考えております。

次に、本定例会に提出いたしました一般会計補正予算案の主なものにつきまして、その概要を御説明申し上げます。

脱炭素化社会の実現に向けた取組として、本市では、電気使用に伴う CO2 排出量の削減を図るため、来年度から市有施設や道路・公園等の照明器具の LED 化を早期かつ計画的に進めてまいります。このため、令和 7 年度以降必要となる経費について債務負担行為を設定し、ゼロカーボンの達成に向けた取組を積極的に進めてまいります。

また、住宅の耐震診断士派遣事業について、国及び県から追加の交付金・補助金が見込める状況となったことから、住宅の耐震化を一層促進するため、耐震診断士の派遣に要する経費の増額を計上いたしました。

このほか、適正な工期を確保するための繰越明許費とともに、来年度以降の事業の早期執行や施工時期の平準化等を図るための債務負担行為の設定を行っております。

次に、令和 7 年度当初予算について申し上げます。

令和 7 年度当初予算につきましては、私の任期後半の取組方針である「変革」と「挑戦」を念頭に置きながら、引き続き、長野市の強みを活かした未来への投資を戦略的に進めていくことで、本市の魅力を高め、活力あるまちの実現を目指してまいります。

また、一方では、今後も社会保障関係経費や普通建設事業費、人件費などの増加が見込まれ、非常に厳しい財政運営が予想されることから、持続可能な財政基盤を維持していくことも必要であると考えております。そこで、令和 7 年度当初予算においては「未来の飛躍に向けた「変革」・「挑戦」と持続可能な財政運営の維持」を編成の基本方針とし、現在、編成作業を進めております。

具体的には、子どもの福祉医療制度の窓口無料化や子どもの体験・学びの応援などの子育て支援、高齢者の社会参加の促進、地域経済・農業の振興、地域公共交通の再構築、脱炭素化の推進等に予算を優先配分するとともに、今後、多額の経費が見込まれる情報システム標準化対応や令和 10 年の国民スポーツ大会等に向けた施設関連整備などにつきましても、着実な事業実施に向け、必要な予算をしっかりと確保してまいりたいと考えております。

Ⅲ 市の動向

次に、本年度の主な施策・事業の動向について申し上げます。

はじめに、台風災害からの復旧・復興及び防災・減災対策について申し上げます。

令和元年東日本台風災害から5年が経過し、復旧・復興に向けましては、長野市災害復興計画に基づき、ハード・ソフトの両面から着実な進捗を図っているところです。

このうち、甚大な被害が発生した千曲川につきましては、国による信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに基づいた各事業が令和9年度の完成を目標に鋭意進められております。また、長沼地区河川防災ステーションの整備につきましては、現在、国の地盤改良工事が順調に進んでおり、本市の施工エリアにおいても国工事の進捗に併せ、早期に工事着手できるよう準備を進めております。

その他、道路等の防災対策や住宅・建築物の耐震対策を着実に進めるとともに、盛土規制対策につきましても「宅地造成及び特定盛土等規制法」の運用開始に向けた準備を行い、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、「長野市総合計画後期基本計画」につきましては、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画としてスタートし、現在3年目となり、折り返し地点に差し掛かりました。

引き続き各施策の着実な推進を図るとともに、次期総合計画策定の準備として、本年度は、本市の2060年時点での目標人口を30万人と定めた「長野市人口ビジョン」について、国立社会保障・人口問題研究所による最新のデータに基づき、時点修正作業を進めております。人口推計を基に現状や課題の分析を行い、令和7年度から始める本格的な総合計画策定作業につなげてまいりたいと考えております。

次に、青木島遊園地廃止に関連した一連の事務処理の在り方について昨年7月から検討を重ねてきた「長野市事務処理の在り方検討委員会」につきましては、今月18日に、検討委員会でまとめた報告書が委員長である西澤副市長から私に提出されました。その際、私から副市長には、報告書で示された指摘事項や課題と今後の事務処理の在り方の方向性を全職員で共有し、速やかに改善に取り組むよう指示したところであります。

今回の教訓を生かし、適正な事務処理の確保に向け、市政に対する信頼が更に増すよう、全庁を挙げて取り組んでまいります。

続いて、「子育て支援・教育の充実」に向けた施策・事業について申し上げます。

子ども・子育て支援事業計画につきましては、令和7年度を計画開始年度とする第三期計画を現在策定しており、来月からパブリックコメントを実施いたします。市民の皆様からの御意見等を参考に、将来に向け子ども・子育て支援の更なる充実を図ることができる計画となるよう、策定に向けて取り組んでまいります。

長野市こども“のびのび”ビジョンにつきましては、子どもたちが日常的に伸び伸びと過ごしたり遊んだりできる場所や環境を整えるため、昨年度から、長野市全体を俯瞰した3つの視点により取り組んでおります。

このうち「子どもの権利を守る施策の充実」につきましては、子どもの権利を守るための条例の制定に向け、先月から福祉環境委員会において協議いただいておりますが、引き続き早期制定に向け、取り組んでまいります。

また、「学校の環境・機能の充実」につきましては、学校体育館の試験的な空調設備の設置校において、稼働による効果検証や学校職員・児童へのアンケート調査を行いながら、今後の設置方針について検討を進めるとともに、小・中学校のトイレ洋式化改修につきましても順次進めてまいります。

このほか、子どもたちの意見を反映できる仕組みづくりとして、小・中学校の児童生徒と給食を食べながら意見交換を行う「スクールランチミーティング」を3校で実施いたしました。

さらに、「公園の機能の充実」につきましては、公園施設魅力アップ事業として、若手や子育て世代の職員によるワークショップを行い、その成果を踏まえ、今後、新たな遊び場整備の具現化に向けた設計業務等を進めるとともに、本定例会に補正予算案として提出したドッグランの整備などにも取り組みながら、市内の公園施設全体の魅力を向上させてまいります。

続いて、「安心して暮らし続けられるまちの実現」に向けた施策・事業について申し上げます。

昨年11月にスタートした住民自治リフレッシュプロジェクトにつきましては、住民参加のワーキンググループによる行政からの依頼事務の見直しや地区ドックの実施等により、住民自治活動の量と質の見直しに向けた取組が順調に進んでおります。

また、中山間地域が抱える課題解決に向けた取組につきましても、経験豊富な定年延長消防職員を「地域支援員」としてモデル的に中山間地域の土木職員のいない支所へ配置するとともに、集落支援員制度の導入を検討するなど、

具体的な取組が始まっております。

こうした取組を着実に進めることにより、安心して暮らすことのできるまちづくりにつなげてまいります。

公共交通の利便性向上のための地域連携ＩＣカード「KURURU」の導入につきましては、来年３月からの運用に先立ち、Suica機能を有したKURURUカードの販売が来年２月１日から始まります。これにより、Suicaが利用できる商店等での利用が可能になり、市民の利便性が高まるものと認識しております。

また、この導入に伴い、おでかけパスポートも切替えとなり、併せて利用者負担額を変更いたします。このため、利用者に混乱が生じないように、既に勧奨通知の発送やコールセンターを設置するとともに、２月には切替えを促進するためのキャンペーンを実施いたします。

今後も、バス利用者の増加や高齢者の生きがいづくりなどにつながるよう、更なる利便性の向上に取り組んでまいります。

地球温暖化対策につきましては、電力消費量の削減効果の大きい照明設備のＬＥＤ化を市有施設において順次取り組んでおります。

このうち、道路灯、公園灯及び排水機場照明灯につきましては、ＬＥＤ化のための設計・施工及びその後の維持管理と省エネ効果の計測・保証を包括して行うESCO事業により、令和７年度中にすべてのＬＥＤ化を進めてまいります。

続いて、「雇用や税収につながる産業づくり」に向けた施策・事業について申し上げます。

未来のＩＣＴ人材の育成につきましては、先月、「産業フェア in 信州 2024」と同時に、小・中学生を対象とした「U-15 長野プログラミングコンテスト」が開催され、事前にプログラミングを学んだ子どもたちから成果が披露されました。

引き続き、地元産業の強みや魅力を再認識していただくとともに、ＩＣＴ人材の裾野の拡大など、将来の地域産業を担う人材育成に向け、継続的に支援してまいりたいと考えております。

インバウンドの推進につきましては、今後の本格的なウインターシーズンに向け、戸隠スキー場のほか市内各所への周遊を促すとともに、白馬村など、周辺スキー場に長期滞在するスキーヤーの来訪を促し、誘客に努めてまいります。

また、真田邸をはじめとする国指定等文化財を活用したインバウンド向けの

高付加価値ガイドツアーの造成につきましては、文化庁の支援を受けながら、旅行商品の開発を進めております。

このような事業を通して、更なるインバウンド誘客と地域経済の活性化に取り組んでまいります。

農業振興につきましては、先月、本市初となる「長野市果樹サミット 2024」を開催し、講演会やパネルディスカッションにより、農家を取り巻く環境と課題解決に向けた事例の紹介や、ヘーゼルナッツの可能性をテーマに意見交換を行いました。

これまで積極的に取り組んできた首都圏等大都市圏での農産品のトップセールスに加え、果樹サミットの開催を本市の更なる農業振興の契機として、持続可能な農業に向けた取組を進めてまいります。

以上、主な施策・事業の動向について申し上げました。

IV むすび

さて、私自ら市内の地区に伺い、地域自慢の「ひと」「まち」の魅力を見聞し、情報発信することを目的に、視察を中心とした新たなアプローチによる広報広聴事業の「まちづくり探訪」を今月からスタートいたしました。

1回目の探訪は、今日3日、「鬼無里ブナの森を育てる会」会長の案内のもと、鬼無里の奥裾花、ブナの原生林を探訪してまいりました。

これまでの観光や物産の情報発信に加え、地域におけるまちの魅力や活躍する人、歴史や文化・芸能など、今後、各地区を探訪し、新たな出会いと発見から、それぞれが持つ魅力を広報ながのやホームページ、SNSなどを通じて市内外に情報発信してまいります。

こうした取組をきっかけとして、本市の地域の活性化、まちの発展・飛躍へとつなげてまいりたいと考えております。

議員の皆様、また、市民の皆様には、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本定例会に提出いたしました案件は、「令和6年度長野市一般会計補正予算」など議案34件、報告8件であります。

詳細につきましては、西澤副市長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき、御決定を賜りますようお願い申し上げます。